

お子様の定期検診について

ご自分の歯磨きが一番大切なのですが、それに加えて歯科医院で定期的にフッ素塗布を行う事で、虫歯になりにくい歯にすることが出来ます。

1) 虫歯や歯肉炎がないか検査します。



2) お口の中を赤く染めて、磨き残ししやすい所を確認します。



赤く染まる所がプラークと呼ばれるばい菌の固まりです。濃く染まる所は長く磨き残しのある所です。(もし赤く染めてほしくない場合は遠慮なくおっしゃって下さい。)

3) 歯ブラシで磨き残しを一緒に取ります。

歯ブラシを持ってきてください。お忘れになった場合は、歯ブラシを買っていただきます(100円)。歯石があったら歯石を取ります。



4) フッ素を塗ります。

フッ素を塗ると歯が強くなります。



P.S.

フッ素ジェル(チェックアップジェル)を使っていると、歯の再石灰化を促進し、虫歯の発生・進行を予防できます。



Check-Up gelの使用方法

う蝕リスクの高い方には、再石灰化を促進するフッ素濃度を口腔内でさらに長く保持させるブースター効果を持ったダブル法をお勧めします。

ダブル法	1st(ファースト)ブラッシング	★就寝前の使用が効果的です	2nd(セカンド)ブラッシング	3 洗口
	Check-Up standard または、kodomoでブラッシングし、 漱口を2回まで(成人1回25ml、 小児1回15ml程度)。		歯ブラシ(DENT-MAXIMA等)の 長さと同じだけCheck-Up gelを乗せ、 歯全体に塗布するようにブラッシング (30秒間)。	使用後に軽く吐き出し、 漱口を1回まで (成人1回25ml、 小児1回15ml程度)。
シングル法	1st(ファースト)ブラッシング 歯磨剤を使用せずにしっかり ブラッシングし、漱口。		 例) DENT-MAXIMAで40.3g	患者様のコンプライアンスが高い使用後の 漱口が可能です。使用後に漱口しても 口腔内にフッ素が保持されます。

ブースター効果とは
Check-Up歯磨剤(Check-Up standard、Check-Up kodomo)でブラッシングした後にCheck-Up gelを使用することで、口腔内のフッ素濃度がCheck-Up歯磨剤の
単独使用時よりも上昇し、口腔内のフッ素濃度がより長時間、再石灰化促進濃度以上に保持できること。